

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 4 月 18 日 (2013.4.18)

【公開番号】特開 2012-5586 (P2012-5586A)
 【公開日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-002
 【出願番号】特願 2010-142684 (P2010-142684)
 【国際特許分類】

A 4 7 J 27/16 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 27/16 G

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 4 日 (2013.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

従来、加圧蒸煮装置の洗浄は、運転後に高圧洗浄水を噴射する手洗浄が通常であった。特にネットの網目に目詰まりした原料を取り除くネット洗浄は、時間と労力を要する作業であった。一方、このネット洗浄が不十分であると、蒸煮した原料の品質に悪影響を及ぼす恐れがあるため、ネット洗浄は必要不可欠な作業であった。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

原料 20 を搬送したネット 4 は、ネットコンベア 10 の端部において折り返され、矢印 a 方向とは反対の矢印 b 方向に進行する。このネット 4 の折り返しにより、原料 20 はネット 4 から離れ、排出口 8 に投入されることになる。図 1 の例では、排出口 8 はホッパー 12 を設けて先端部の開口面積を広くしている。排出口 8 に投入された原料は、原料排出側ロータリーバルブ 7 のロータの回転により、蒸煮缶 2 から排出されることになる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

各洗浄ノズル 11 の噴射口 14 (図 4) は、図 1、図 2 に示したように、ネット 4 に対し原料 20 の積載面の裏面側から蒸気を噴射する位置に設けている。より具体的には、図 1 において、矢印 a 方向に進行したネット 4 は、ネットコンベア 10 の端部において折り返され、矢印 a 方向とは反対の矢印 b 方向に進行する。矢印 b 方向に進行中のネット 4 は、矢印 a 方向に進行中のネット 4 に対し、原料 20 の積載面が反転している。このため、図 1、図 2 において、噴射口 14 からの蒸気は、ネット 4 に対し原料 20 の積載面の裏面側から蒸気を噴射していることになる。